

## 第2回企画展

## 「水沢の蘭学」閉会

後藤新平記念館合同企画 第1回企画展「“先見の明”を持つ二人の男たち」～時代を越えてつながる生き方～に続き、第2回企画展「水沢の蘭学」一蘭学にかかわった人々も大好評のうちに無事に終えることができました。来館くださいました皆様、そして本企画展にご理解とご協力をいただきました関係施設及び関係者の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。



令和7年8月26日(火)～11月16日(日)までの72日間の開催期間中(重要文化財公開10月7日～11月3日含む)、延べ476名と6団体の方々にご来館をいただきました。重ねてお礼を申し上げますありがとうございます。

皆様からは、「これだけの資料が残っていたのだと感動しました。」「分かりやすく展示されていると感じました。」「新たな視点で企画展を構想し、掘り下げた研究調査、素晴らしかったです。」「資料が他館借用等で、とても充実して見ごたえがありました。」などの感想をいただきました。一方で、後半以降は寒暖の差があり、「少し寒かった。」「寒かった。でも、色々と説明してくれて良かつ



## 解説会(10/25)のようす

たし、楽しかった。」とのご意見もいただき、資料の保管維持による館内の温度管理の難しさを痛感させられました。今後は天候に応じて、防寒着等の準備の呼びかけを進めて行きたいと思います。

令和7年度 第3回企画展  
のお知らせ

現在、第3回 企画展「高野長英旧宅資料展」を開催しております。高野長英旧宅は、高野長英の母美也の実家で、長英が17歳で江戸に遊学するまでの一時期を過ごしたところです。昨年度、旧宅より収集し、整理いたしました約150点のうち、今回は36点を展示しております。高野家三代(12代当主・長閑、13代当主・長運、14代当主・長経)に関する資料を主に、墓碑面撰文、長英顕彰碑賛助名簿、長運宛はがき等高野家ゆかりの資料を展示しております。開催期間は、令和8年4月19日(日)までとなっております。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



「長英の間」(上座敷)